

サトイモのドローン利用による防除について

農林水産研究所

-ドローン防除の特長-

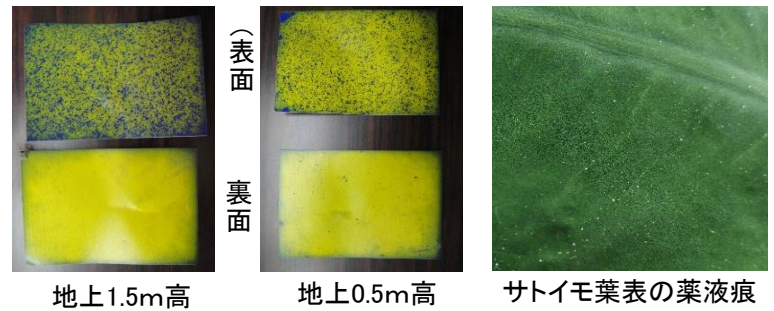
- ① **操縦が簡単**で自動飛行機能を有する機種がある
- ② 手散布と比べ高濃度少量での散布
- ③ 手散布と比べ省力的で**10aのサトイモ圃場を3分で散布可能**
- ④ 機動力に優れることから**狭小な圃場でも利用が可能**



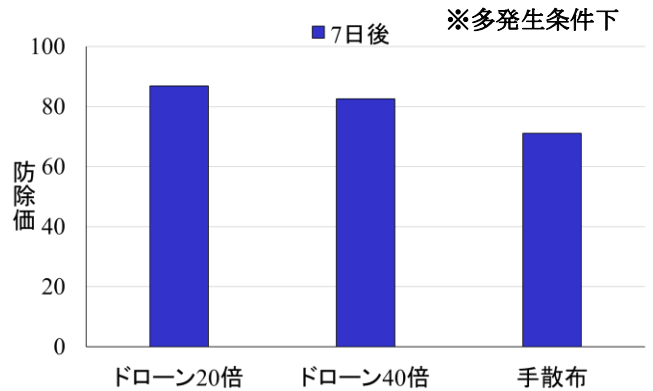
①薬液の付着

サトイモ株の上位、下位付近に設置した感水紙でドローン散布の薬液付着を「見える化」すると、**表面ではよく付着しましたが、裏面では劣りました。**

* 感水紙: 薬液付着を変色(青色へ)で判定



ドローン散布による薬液の付着(感水紙で判定)



本剤2回散布(疫病発生後散布)の防除効果(散布7日後の防除価で判定)

③サトイモにおける無人航空機防除の登録農薬

現在(2023年7月19日時点)、サトイモに対してドローン防除の登録がある農薬は、**殺菌剤2剤、殺虫剤4剤の計6剤**です。

サトイモにおける無人航空機防除の登録農薬(2023/7/19現在) □

農薬名	適用病害虫名	希釈倍数・使用液量(10a)
アドマイヤー顆粒水和剤	アブラムシ類	80倍・1.6~2L
		200倍・2~4L
		400倍・4~10L
アミスター20フロアブル	疫病	18倍・1.6L
ダイナモ顆粒水和剤	疫病	20倍・1.6L
		40倍・3.2L
トルネードエースDF	ハスモンヨトウ	20倍・1~2L
プレバソンフロアブル5	ハスモンヨトウ	20倍・1~2L
ヨーバルフロアブル	ハスモンヨトウ	50倍・1.6L

(一社)農林水産航空協会、産業用無人航空機農薬 (https://mujin-heri.jp/index_top.html)